

Vol.101 PUSH!

図書館司書が選んだ
中高生向けのおすすめ本

テーマ

図書館司書が

中高生のときに読んだ

本

ランナー



あさのあつこ／著
幻冬舎(Fアサノ)

高校生の碧李は「妹を守るため」に、陸上部を退部する。しかしそれは、レースへの恐怖から逃げるための言い訳だった。自分の本心に気付いた碧李は陸上部に戻り、再び走ることに向き合っていく。

ただ爽やかなだけじゃないスポーツ小説。少し変わったものが読みたいという人におすすめです！



世界がもし 100 人の村だったら

池田香代子／再話 C.ダグラス・ラミス／対訳
マガジンハウス (304 セカイ)

世界中のあなたを思う誰かから届いた 1 通のメールです。

世界には 63 億人の人がいますが
もしもそれを 100 人の村に縮めると
どうなるでしょう

今も世界中でおこっている問題やあらゆる差別を 100 人の村の 1 人として考えると、見えてくる世界はきっと変わるはず。

この本が出版されてから 19 年。100 人の村はどう変わったのでしょうか？



ふくもっちゃんのつぶやき

PUSH! は 101 号からリニューアル!

新コーナー「ふくもっちゃんのつぶやき」では、図書館をもっと楽しむための情報をご紹介します!

今回は、福島市立図書館のイメージキャラクター「ふくもっちゃん」をご紹介します!
福島市立図書館をねぐらにしている福の神。子どもたちの笑顔や、楽しい気持ち、幸せな気持ちをごはんにしています。



令和2年 6月

編集発行 福島市立図書館 YA部会

TEL 531-6551

帝国の娘 (前・後編)

須賀しのぶ／著 集英社 (PF スガシ)

獵師の娘・カリエは、狩りの途中で謎の男に攫われる。連れてこられたのは皇妃の館、そこでカリエは「病弱な皇子の影武者になれ」と告げられる。

大河ファンタジー「流血女神伝」の 1 巻目。



皇子(偽)→奴隷→正妃→
海賊…!?
カリエの波乱万丈っぷりから
目が離せないこと請け合い★



肩胛骨は翼のなごり

デイヴィッド・アーモンド／著
山田順子／訳 東京創元社 (933 アモン)

マイケルは、引っ越し先の庭にあったガレージで、ひどく弱り、肩胛骨から羽が生えている男性を見つける。隣の家に住むミナとともに、マイケルは彼を助けようと奮闘するが…。

不気味でありながらも、美しい物語。天使は本当にいるかもしれないと思わせてくれます



未来の見えない日々の中、それぞれが光を求めて走り出す。
中学生のさくららは、ある事件以来、親友の梨利とギクシヤクしている。進路や友人との関係に悩むさくららの心の支えは、スーパリーの店員・智さん。ところが、智さんが心を病んでしま…。

悩みながらも必死に前へ進もうとする
さくらたちの姿にくっつきます!



つきのふね

森絵都／著
講談社 (Y913モリエ)



Good Luck グッドラック

アレックス・ロビラ、
フェルナンド・トリアス・デ・ベス／著
田内志文／訳
ポプラ社 (963 ロビラ)

公園のベンチで、54 年ぶりに再会した幼なじみのジムとマックス。運がなかったせいですべてを失ったというジムに、マックスは、幸運のクローバーを探す 2 人の騎士の物語を語り始める。

人生は運しだい? 努力しだい?

